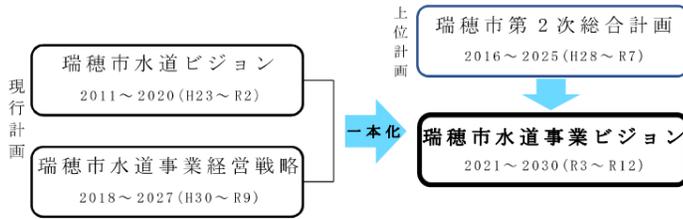


瑞穂市水道事業ビジョン【概要版】

1. 水道事業ビジョンの策定にあたって

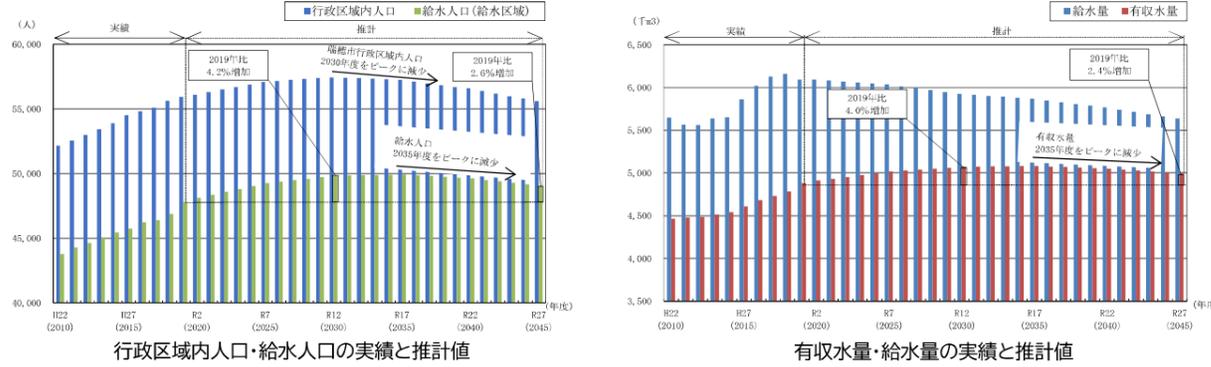
健全な水道事業を継続していくための新たな基本計画となる「瑞穂市水道事業ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、「瑞穂市第2次総合計画」を上位計画とし、中長期的な経営の基本計画となる「瑞穂市水道事業経営戦略」を計画構成に加えることにより、実施施策と計画期間の整合性を図るとともに、今後10年間の水道事業の方向性と経営方針を明示します。



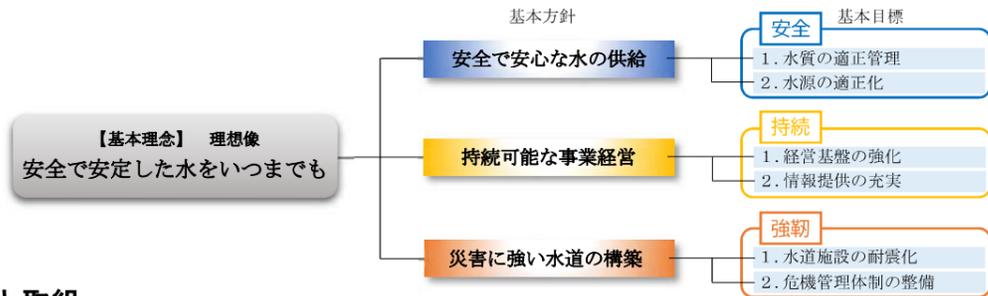
2. 現状と将来見通し

本市の給水人口は、令和17(2035)年度まで増加し、その後減少する見通しです。有収水量は当面増加傾向にありますが、将来的には減少していくため、施設の老朽化による更新需要(投資)の増大等により、厳しい事業環境に置かれることが推察されます。



3. 基本理念・基本方針・基本目標

水道事業の基本理念として「安全で安定した水をいつまでも」を掲げ、基本理念の実現に向け「安全」、「持続」、「強靱」の観点からなる3つの基本方針とそれに対応する基本目標を設定します。



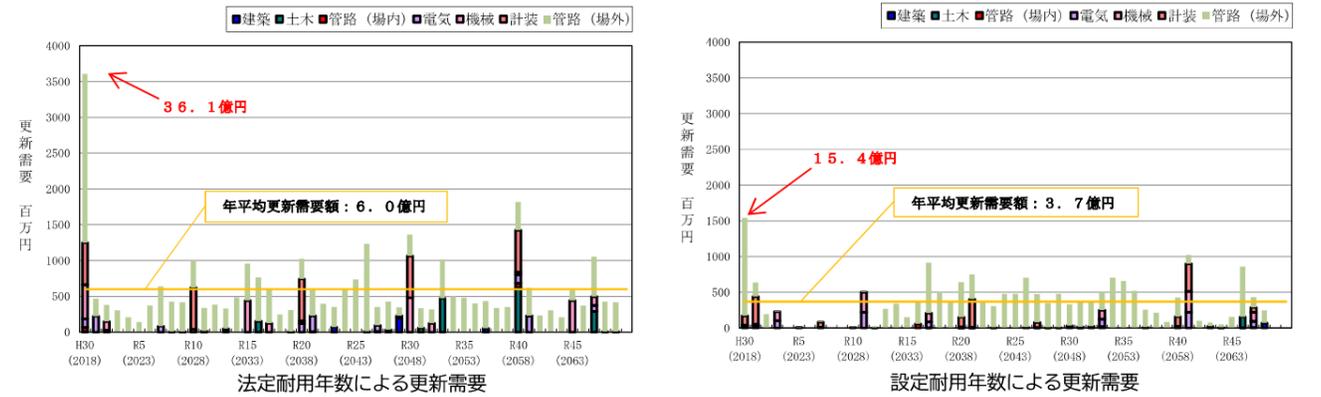
4. 施策と取組

基本目標の達成に向けた実施施策を推進します。

基本方針	基本目標 SDGs	課題	実施施策
【安全】 安全で安心な水の供給	1. 水質の適正管理	1) 水質検査の継続	水質検査計画の策定と計画に基づく検査の実施
	2. 水源の適正化	2) 水源井戸の適正管理	井戸調査の実施、修繕・更新計画の検討
【持続】 持続可能な事業経営	1. 経営基盤の強化	3) 持続可能な事業経営 (投資の平準化と水道施設の計画的更新)	経営戦略の推進 ・投資の平準化 ・水源地内設備の更新 ・老朽管の更新等
		4) 有収率の向上	漏水調査と速やかな修繕
		5) 環境に配慮した事業運営	省エネルギー機器の導入
		6) 広域化等への対応	広域化・共同化等の検討 岐阜県水道事業広域連携研究会への参加
		7) 人員確保と技術継承	人員確保、人材育成及び技術の継承
		2. 情報提供の拡充	8) 水道利用者への情報提供
【強靱】 災害に強い水道の構築	1. 水道施設の耐震化 2. 危機管理体制の整備	9) 配水池の耐震性能評価	呂久水源配水池の耐震性能評価
		10) 管路の耐震化	重要給水施設管路の耐震化
		11) 危機管理体制の強化	危機管理マニュアルの整備 災害時応急給水体制の確保

5. 投資及び財政計画

施設の更新需要の増大に伴い、今後多額の投資が必要になることが見込まれます。投資計画においては、施設の長寿命化等によるライフサイクルコストの縮減により、投資の平準化を図ります。



持続可能な事業経営の実現に向けた新たな財源確保策の検討を進めるとともに、投資と財源のバランスを図ります。

投資計画

主な投資事業	期間	事業費試算額 (億円)	備考
水源地内整備更新事業	R3～R12	11.8	水源地内の設備を計画的に更新します。
重要給水施設管路耐震化事業	R3～R12	5.0	水源地から重要給水施設までの路線の内、老朽度や管種を考慮して計画的に更新し、優先的に耐震化を進めます。
基幹・幹線管路網更新事業 老朽管更新事業	R3～R12	14.7	基幹・幹線管路及び更新基準を迎える管路(老朽管)を計画的に更新します。
配水管拡張事業	R3～R12	5.5	増加傾向にある給水人口に対応していくため、必要となる拡張工事を行います。

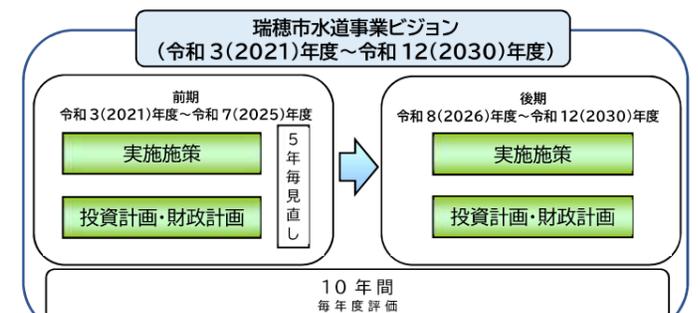
財政計画

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
収益的収入	5.3	5.3	5.4	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.6	5.6
料金収入	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	5.1
その他	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
収益的支出	4.8	4.9	4.9	5.0	5.0	5.2	5.2	5.3	5.4	5.5
経費	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
減価償却費・支払利息	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.7	2.7	2.8	2.9	3.0
当年度純利益(又は純損失)	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
資本的収入	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
他会計負担金等	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
資本的支出	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	3.7
建設改良費	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
企業債償還金	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	—
資本的収支不足額	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1	2.9
補填財源残高	9.5	8.8	8.1	7.5	7.0	6.5	6.2	6.0	5.9	6.0
企業債残高	3.6	2.9	2.3	1.8	1.3	0.8	0.4	0.2	—	—

6. フォローアップ

定期的なフォローアップ(進捗管理)を行い、目標の達成状況について評価、検証を行います。

また、水道事業を取り巻く環境や社会情勢の変化に対応するため、5年毎に重点施策や経営戦略等について中間検証を実施し、検証を踏まえた計画の改善を行います。



計画的なフォローアップ